

果物泥棒は許さん！ 陶芸用電子機器や火災センサーなど製造のアンテック（瀬戸内市呂久町）は、果物畑向けの警報通報装置を開発した。センサーが侵入者を感知すると、畑の所有者の携帯電話にメールで知らせる。「全国でも珍しい」としている。

防犯用の光電センサーと、携帯電話を内蔵した制御器（縦50㌢、横20㌢、幅16㌢）、警報器のセット。センサーは小動物などに反応しないよう高さ110㌢の鉄製ポール上部に取り付ける。侵入者を感知すると警報器がサイレンで警告を発するとともに、メー

## 果物畑向け警報装置



アンテックの果物畑向け警報通報装置で光センサーを取り付けたポール

アンテックが開発

## 侵入者感知し携帯メール

ルを送る。送り先は5カ所まで登録できる。

昨年の収穫期に桃を盗まれて約200万円の被害に遭った地元農家から相談を受けて考案した。価格はセンサー1つで約40万円（施工費除く）。依頼先の農家の畑に導入しており、「安心できる」と好評という。

アンテックは「白桃やマスカットといった高級果物は盗難に遭うと被害額は大きく、ニーズはあるはず」としている。

同社は1997年設立。資本金1500万円。従業員4人、売上高1億1000万円（2007年4月期）。（三木良一）